日本医師会 赤ひげ大賞

地域で献身的な医療活動に取り組む医師を顕彰する「日本医師会赤ひげ大賞」（主催・日本医師会、産経新聞社）が創設から10年目を迎えた。第6回から選考委員を務める俳優の檀ふみ氏と、同回から特別協賛する太陽生命保険の副島直樹社長に、選考の苦労や協賛することの意義などについて語ってもらった。

国民と支える地域医療

俳優 檀ふみ氏 × 太陽生命保険社長 副島直樹氏

だん・ふみ　慶応大経済学部卒。高校在学中に俳優デビューし活躍するだけでなく、エッセイストとしても講談社エッセイ賞を受賞するなど高い評価を受ける。父は作家の檀一雄氏。

そえじま・なおき　昭和33年11月20日生まれ。慶応大商学部卒。56年、太陽生命保険入社。執行役員営業企画部長、副社長などを経て、平成31年4月から現職。

社会保障補完の使命で応援　副島氏

太陽生命保険は赤ひげ大賞に特別協賛して5年目になりますが、協賛することの意義はなんでしょうか

副島氏　日本には、地域で地道に活動されている医師の先生が大勢いらっしゃいます。受賞された先生をみても、離島で長年にわたり島民の健康を守られていたり、90代後半になっても地域住民のために現役で活躍されたりしています。そのような先生方に日本の医療を支えていただいているということを、より多くの人々に知ってもらうために日本医師会と産経新聞社が赤ひげ大賞を創設されました。この副島制度を安定して維持するためには企業のサポートが必要であり、国の社会保障制度を補完する役割を担う生命保険会社である当社の役割だと考えています。

協賛させていただくことで、社員も良い影響を受けています。コロナ禍により昨年は実施できていませんが、全国にいる当社の支社長が毎年、先生方のもとを訪れあいさつさせていただき、表彰式後には再度訪問のうえ、お話を聞かせていただいております。医療という別の分野の最前線で、地道に丁寧な仕事を積み重ねていらっゃる先生方の姿に感銘を受けており、すばらしい経験をさせていただいています。

献身的なすばらしい先生がたくさんいらっしゃるということは、受賞者を絞るのも大変です

檀氏　毎回、徹夜して選考資料を読んで、どうしたらいいのか分からなくなるほど悩みます。昼夜を分かたず、嵐や災害の中でも患者さんのために精いっぱい努力される。患者さんからいつお呼びがかかるか分からないから、すぐに対応できるよう毎晩、服のまま寝ているとか…。それが1人でなく、そういう先生ばかりで、〝なんでそんなすごいことができるのか〟と打ちのめされるような気持ちになります。

副島氏　私の妻の実家が開業医で、今は亡くなってしまいましたが、義父が土日も昼夜も関係なく、患者さんからの電話に対応していた姿を思い出します。人の命を預かるという重責ゆえに、休みもあまりなかったはずです。世の中にはさまざまな仕事がありますが、医師というのは大変な仕事だと思います。医師の大変さを私たちが理解して、国民の健康を守る地域医療システムを今後も維持していくことが重要です。先生方の顕彰の一端を担わせていただくことは大きな意義があり、今後も続けていきたいと考えています。

檀氏　平成27年に私の母が亡くなってから間もなく、この賞の選考委員就任のお話をいただきました。母は亡くなる2カ月前くらいから入院していたのですが、「家に帰りたい」というので担当の先生に相談したら、意思を尊重して在宅医療の先生を紹介してくださいました。そのおかげで自宅で母をみることができました。私としては、父が6カ月間入院した末にお亡くなりになり、家でみとることができなかった経験があったので、母と最後に濃密な時間を過ごせたことは幸せで、母の入院先の先生にも在宅医療の先生にも感謝と信頼の気持ちがあります。

新型コロナウイルスの感染拡大により、かかりつけ医の重要性が再認識されました

檀氏　私の友人で基礎疾患のある人が2人いるのですが、インターネットを使ったワクチンの集団接種の予約がうまくできずに困っていたら、2人とも、かかりつけ医から電話があって「ワクチンの接種は済みましたか？　まだならここに連絡しなさい」と教えられたそうです。彼女たちはさぞほっとしただろうと思うと同時に〝日本の医療ってすばらしい〟と感じた瞬間でした。

ただ、私自身のことを言いますと健康で、医療機関を受診することがほとんどないので、私のかかりつけ医はどなたなのか、実をいうと知りません。そういう点では、国民の側もかかりつけ医の先生をきちんと決めて、医療の役割分担のシステムをいい形で機能させていくことが大切かもしれませんね。

副島氏　そうですね。地方であれば家族全員が同じ医師にかかることも多いですが、〝自分のかかりつけ医はこの先生だ〟という意識を持つ人は都市部に住む人ほど少ないと思います。ワクチン接種も含めて医療体制の整備に注目が集まるなか、かかりつけ医の存在についても一人一人が改めて考えなければなりませんね。

生命保険会社は社会保障制度を補完する役割を担うとのことですが、具体的にはどういうことでしょうか

副島氏　生命保険事業は国からの免許を授与されて行える事業であり、私たち保険会社は、公的な社会保障だけでは補うことが難しいリスクなどに対して経済的な損失などを補完しています。例えば、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、現在は公費負担のため、医療費などはかかりません。ですが、療養のため仕事ができず収入が途絶えたり、家事代行や宅配サービスなどを頼むことで負担が発生したりします。当社では、そのような新型コロナウイルスなどの感染症に特化した「感染症プラス入院一時金保険」をいち早く開発し、昨年9月から提供し、多くのお客さまからご好評をいただいています。

檀氏　そういう備えがあれば一つの安心につながりますね。

副島氏　ありがとうございます。人生100歳時代といわれるなか、健康寿命を延伸するためには、疾病を「治療」するだけでなく「予防」することが重要になります。当社は予防と保障が一体となった保険商品を提供しており、お客さまの健康増進をサポートしています。今年6月には、ガン・重大疾病予防保険を発売しています。それぞれの保険では、ともに少量の血液で、軽度認知障害（MCI）の兆候を発見できる検査や、がんである可能性などを判定できる検査をお客さまにご案内しています。このような最新の検査に関する情報は、個人で収集するには限界があり、玉石混交でもあるので、私たちが組織として精査したうえで最新のサービスを提供していきたいと考えています。

また、少子化と健康寿命の延伸という大きな社会的課題解決の一助となるよう、昨年4月に「太陽生命少子高齢社会研究所」を設立し、学術機関などとビッグデータを活用した共同研究を行っています。今後も優れた商品・サービスを提供することや、そこで得られたデータなどを活用し、お客さまの元気、長生きをサポートしていきたいと考えています。

今年も新たな受賞者選考の季節が近づいてきました

檀氏　選考資料を読ませていただいていると各先生のすばらしさに、ぜひお会いして「ありがとうございます」と伝えたい気持ちにいつもなります。それが実現できるのが表彰式ですが、ここ2年、コロナ禍で中止になってしまったのが少し残念です。

副島氏　実際に会うということが大事ですよね。表彰式では先生方のご家族もいらっしゃいますが、ご家族の憂慮や後押しあっての〝赤ひげ先生〟なのだと実感します。また、表彰式には医学生も参加して、受賞された先生方と交流する取り組みが行われています。さらなる地域医療発展のためにもこのような取り組みが多くの人々に広まるよう、今後も応援したいと考えています。

檀氏　今年も新たな選考の資料を読みながら、すばらしい先生方の足跡に〝私ももっとがんばらなければ〟という気持ちになることと思います。

徹夜で悩む毎回の受賞者選考　檀氏

書家・金澤翔子さんの作品とともに＝東京都中央区の太陽生命保険本社（寺河内美奈撮影）

日本医師会　赤ひげ大賞

日本医師会と産経新聞社が共同で、地域に密着して人々の健康を支えている医師の功績をたたえ広く国民に伝えるとともに、次代の日本を支える地域医療の大切さをアピールする事業として平成24年に創設された。

全国の都道府県医師会から推薦された、病を診るだけでなく地域に根づき、その地域のかかりつけ医として生命の誕生からみとりまでさまざまな場面で住民の疾病予防や健康の保持増進に努める医師から、選考会で毎年5人を「赤ひげ大賞」に選定し表彰している。第8回からは「赤ひげ功労賞」も設けられ、第9回は13人が受賞した。

江戸時代の小石川養生所を舞台に庶民の人生模様と「赤ひげ」と呼ばれる所長と青年医師との心の交流を描いた山本周五郎氏の『赤ひげ診療譚』にあやかって名付けられた。

新型コロナの入院で最高40万円※1
新発売 感染症プラス入院一時金保険
感染症プラス ＋ 入院一時金
保障が2倍※3

※1「新型コロナ」とは、新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和2年政令第11号）に定める新型コロナウイルス感染症のことをいいます。将来、感染症予防法等の改正により支払対象外となることがあります。
※2入院一時金保険と感染症プラス入院一時金保険をそれぞれ入院一時金額20万円で付加し、所定の感染症を原因とした入院の場合、感染症プラス入院一時金保険は、新型コロナウイルス感染症等、所定の感染症を保障します。
※3「保障が2倍」とは、入院一時金の受取額が入院一時金保険のみに加入したときとくらべて2倍になることを指します。
※4感染症プラス入院一時金保険は、災害入院一時金保険の変形であり、保険期間Bの1の相定契約の一つです。商品詳細は、ご契約のしおり・約款等をご覧ください。責任開始日から10日以内に発病した所定の感染症は支払対象外です。
元気！長生き！ 太陽生命 ［資料のご請求・お問い合わせは］太陽生命お客様サービスセンター 0120-95-1528（通話無料） 営業時間:月～金 9時～18時/土・日 9時～17時 ※祝日・年末年始(12/30～1/4)は休業します
スマ保険
さあ、保険の新次元へ。 T&D保険グループ